

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成23年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
堤防の3次元変状等をモバイルマッピングシステム、高精度高密度航空レーザ測量システムにより広域かつ高精度に把握する探査技術(研究期間: H23年~H24年)	京都大学 西山 哲	A
<p><研究概要> 航空レーザ測量で使用されているレーザスキャナを車両に搭載し、車両走行しながら迅速かつ簡便に河川堤防の広域にわたる変状をモニタリングする手法において、GPS測量と同等の高精度を発揮する計測技術と、広域を計測したレーザ点群から重点的な調査が必要な変状箇所を抽出する解析技術を開発した。</p>		
<p><事後評価コメント> 河川堤防モニタリングにおいて車両走行レーザ測量を利用するために必要な計測技術を構築することができた。測量精度は高く実務的に有用な技術開発であり、将来の社会基盤施設の維持管理に大いに役立つものと期待されることから、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後は、実用化に向けてデータを蓄積し、堤防の規模や形状などの違いによる精度の検証等を行うことで、効率的な堤防の点検等につながることを期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い